

20230920_ver2.0

脱炭素経営勉強会

地域脱炭素事業

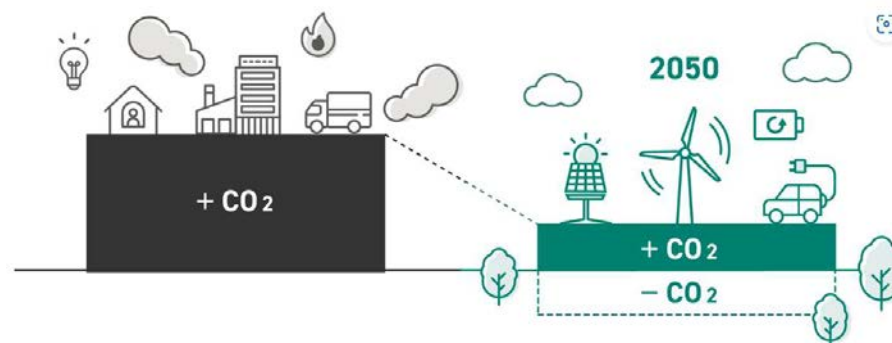
① 会社沿革

- ・2014年6月 風力発電事業会社へ出資(石川建設工業)
- ・2018年4月 万葉の里風力発電所竣工(9.4M)
- ・2020年4月 野馬追の里風力発電事業会社へ出資
- ・2022年1月 会社設立(石川建設工業100%子会社)
- ・2022年4月 会社分割(建設業以外の業務を移管)業務開始
- ・2024年4月 万葉の里風力発電のFIP切替予定
- ・2026年3月 野馬追の里風力発電所竣工予定(52M)



② 業務内容

- ・双葉町減容化施設放射線管理
- ・再生可能エネルギー事業への出資
(SGET原町南太陽光発電所、万葉・野馬追の里風力発電所)
- ・太陽光発電所の除草
- ・風力発電所建設支援



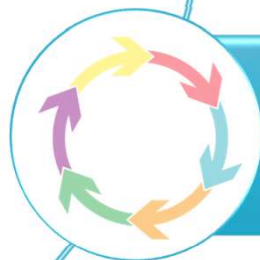
③ 会社による価値提案



電力の地産地消



災害時の非常用電源



地域経済の循環



石川恒産株式会社

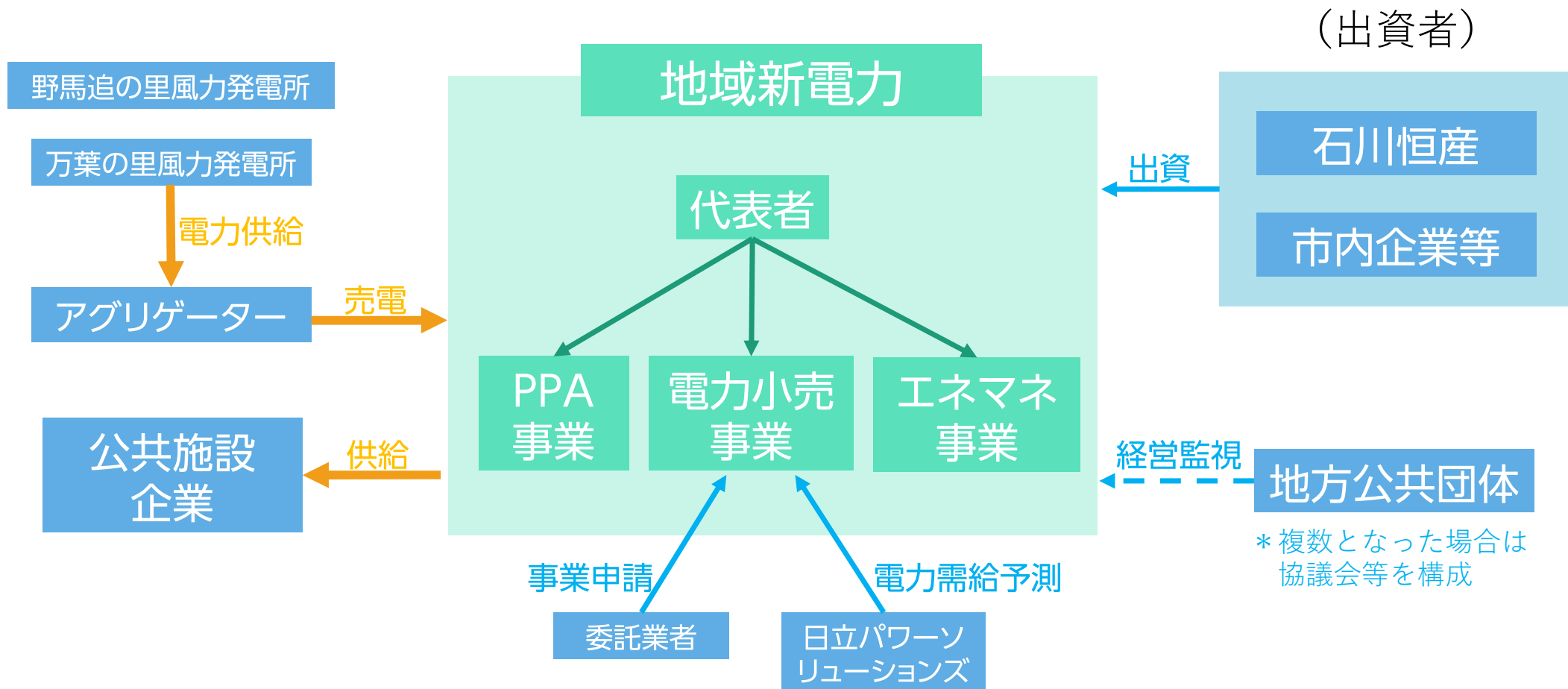
④ 事業内容(実現手段)

- ・実現手段は大きく3つの事業分野
 1. 電力小売事業
 2. PPAモデル事業(+水力発電等電源開発)
 3. エネマネ事業

- ・ベースは電力小売
- ・PPAモデルや電源開発で電力供給の多様化
⇒ 電力小売事業の強化



⑤ 地域新電力事業フロー



石川恒産株式会社

⑥ PPAモデル事業

ソーラーカーポート+蓄電池

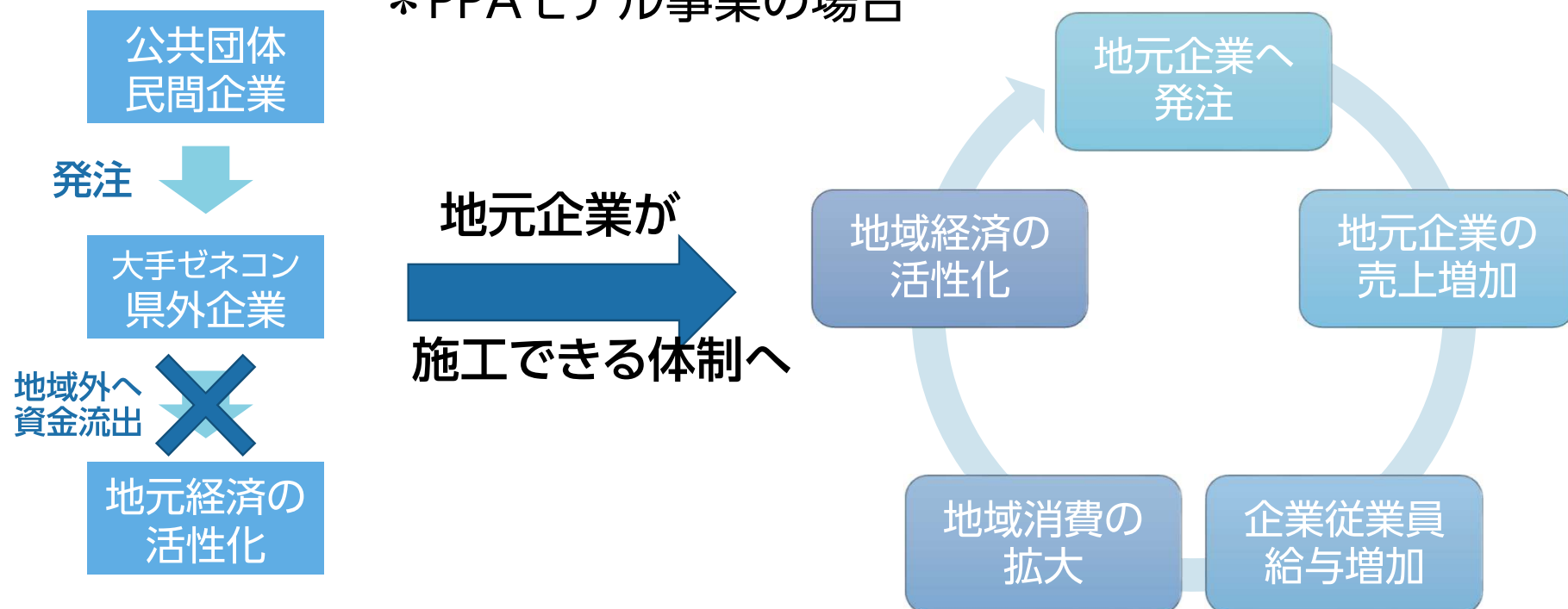


石川恒産株式会社

⑦ 地域経済の活性化

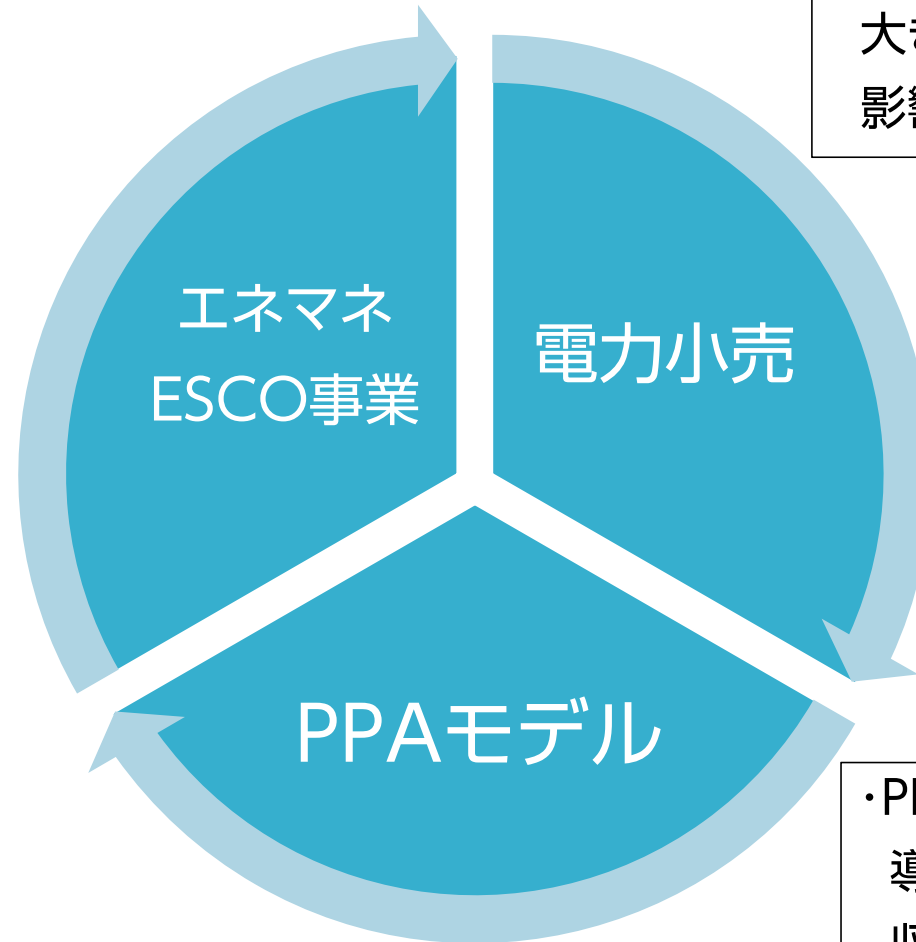
○地域でお金が循環する仕組みを構築

* PPAモデル事業の場合



⑧ 事業ポートフォリオ

・エネマネ・ESCOは
売上構成比は低いが
安定的な収益が
確保可能

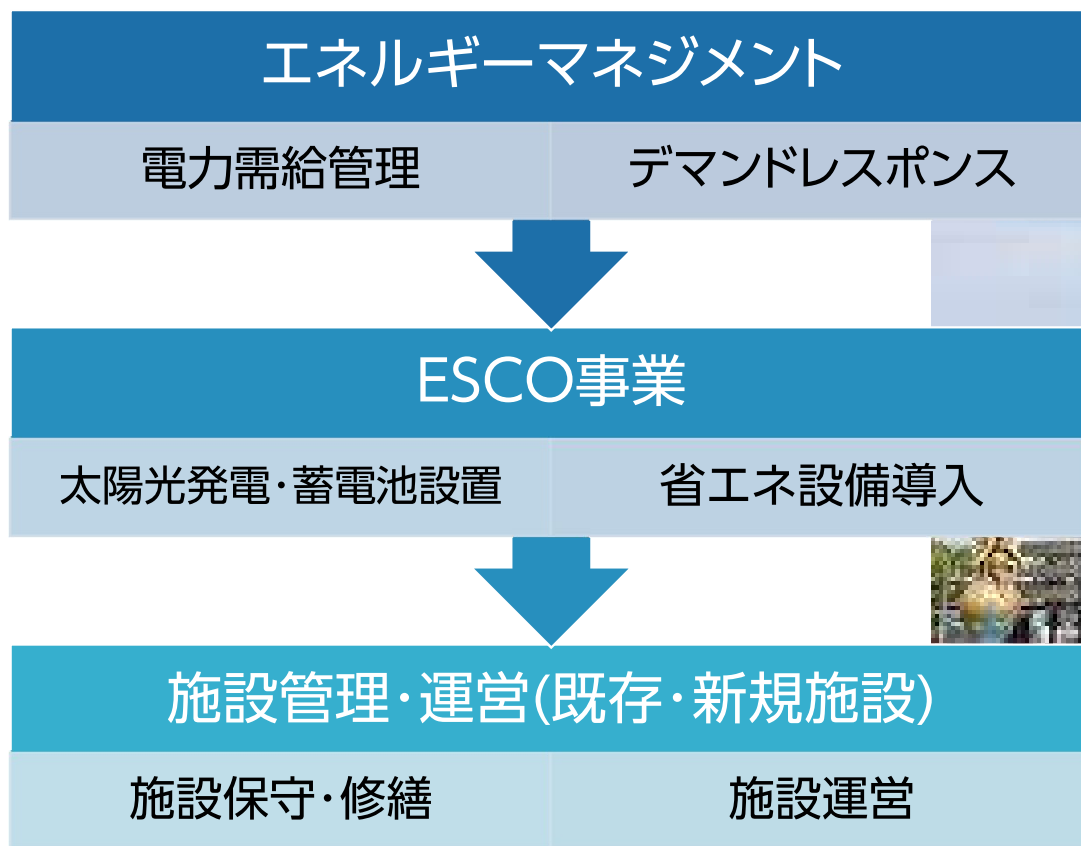


・電力小売事業は
最も売上構成比が
大きいですが社会状況の
影響大

・PPAモデル事業は
導入施設が増えれば
収益の柱となる



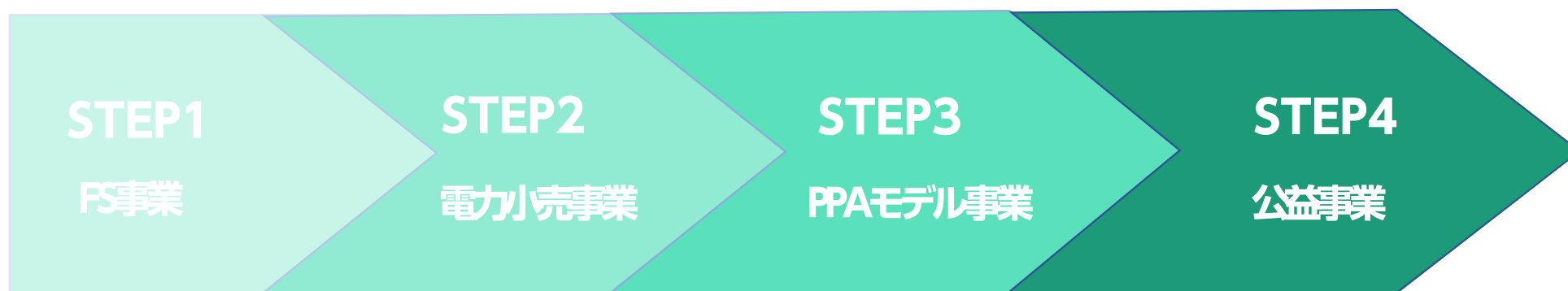
⑨ 事業内容(エネルギーマネジメント)



石川恒産株式会社

* 管理形態により管理料が変動するため収益記載なし

⑩ 事業スケジュール



- 【2024～2025】
- ・公共施設や工場へ風力発電の電気を供給
 - ・自社事務所への自家消費設備導入

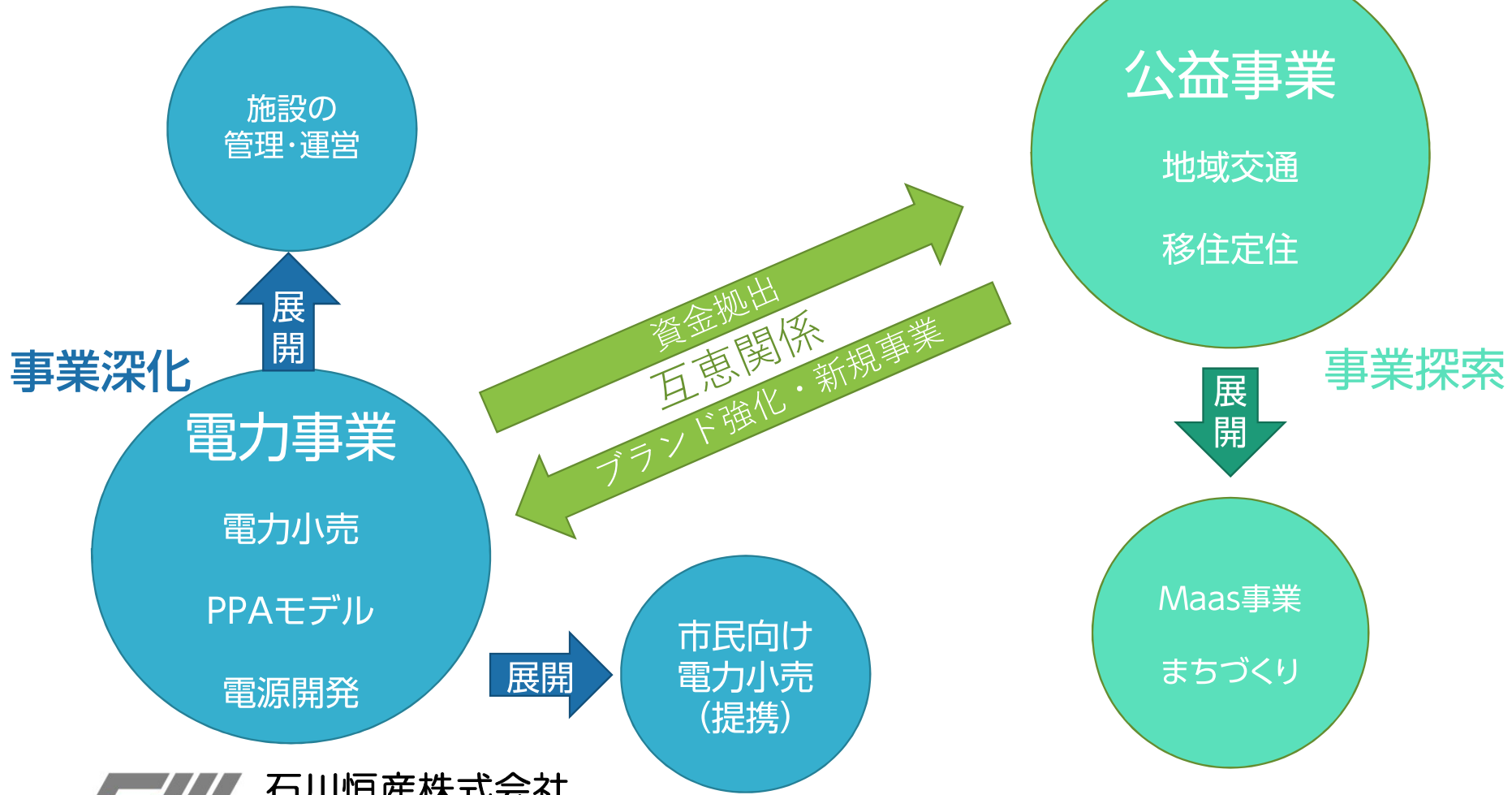
- 【2025～2026】
- ・電力供給施設の追加(3か所)
 - ・電力需要予測やオペレーションの内製化

- 【2026～2030】
- ・PPAモデル導入
 - ・市内企業のゼロカーボン支援
 - ・市民向け電力小売の検討

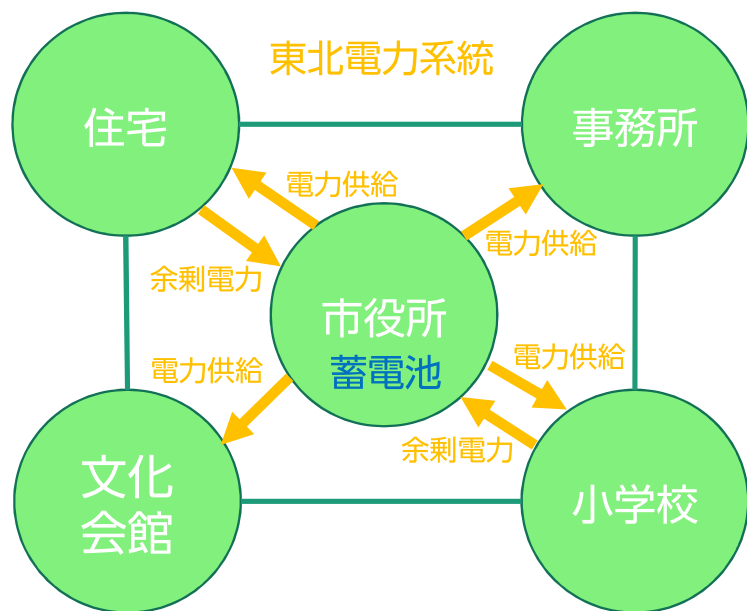
- 【2031～2040】
- ・収益の安定化
 - ・公益事業の実施
 - ・水力発電など新たな電源の開発
 - ・FIT期間終了後の太陽光施設運営



⑪ 事業内容 (事業展開)



⑫ 地域ゼロカーボン(東北電力との協働)



①市役所周辺をゼロカーボン化



②ゼロカーボン地区の追加→③南相馬市全体をゼロカーボン化



石川恒産株式会社